

## 沿 革

### (1) 大町市消防団

- 昭和23年 3月 自治体消防として大町、平村、常盤村、社村それぞれ消防団が発足する。
- 昭和29年 7月 大町、平、常盤、社の一町三ヶ村が合併したことに伴い大町市消防団が定数1,270名で発足する。
- 昭和30年 2月 日本消防協会優良消防団表彰旗を受賞する。
- 昭和40年 3月 消防庁長官表彰(竿頭綬)を受賞する。
- 昭和41年 9月 第13回県下消防団長大会が当市において開催される。
- 昭和43年 4月 常備消防の充実に伴い定数を大幅に削減し、780名となる。
- 昭和48年11月 当市消防団長が県消防協会長に就任する。
- 昭和52年 1月 市民初参加の「消防出初式」を実施する。
- 昭和55年 4月 定数を626名とする。
- 昭和58年 3月 消防庁長官表彰旗を受賞する。
- 平成 5年 4月 消防団活性化対策検討委員会を設置する。
- 11月 消防団活性化対策検討委員会答申書を作成し、団長に提出する。
- 平成 6年 4月 消防団活性化委員会を設置する。
- 平成 7年 4月 消防団活性化対策事業により、女性消防団員が入団する。
- 平成 8年 4月 長野県市町村災害時相互応援協定を締結する。  
梅雨前線豪雨災害に対する水防功績により全国水防管理団体連合会会長表彰を受賞する。
- 平成 9年 4月 蒲原沢土石流災害の功績により消防庁長官感謝状及び日本消防協会会長表彰を受賞する。
- 平成18年 1月 大町市、八坂村、美麻村が合併したことに伴い、定数が835名となる。
- 平成19年 4月 平成18年7月梅雨前線豪雨災害に対する水防功績により全国水防管理団体連合会会長表彰を受賞する。
- 平成26年 4月 消防団員の減少に伴い定数を削減し、769名となる。  
当市消防団長が県消防協会長に就任する。
- 平成26年12月 市役所消防応援隊を結成し消防団支援を開始する。
- 平成28年 4月 喇叭部組織再編を実施(本部分団付)。
- 平成30年 5月 県下第95回都市消防長・消防団長並びに事務主任者会議が当市において開催される。
- 平成30年 6月 消防団員定年制の撤廃実施。機能別団員制の導入。
- 令和2年度 ポンプ操法・ラッパ吹奏大会が感染症流行により中止となる。
- 令和3年度 ポンプ操法・ラッパ吹奏大会、令和4年消防出初式が感染症流行により中止となる。
- 令和 5年 4月 団員の減少に伴い組織を再編し7分団14部、定数を削減及び区分を見直しし基本団員456名、機能別団員100名 計556名となる。

# 組織・機構

(令和5年4月1日現在)

## (1) 大町市

